



日本一の
水源の郷を
めざして

広報

357号

道志村民憲章

私たちの七里は、緑と清流と歴史の郷です。この地に生きること誇りをもち、平和な村を築くため、ここに憲章を定めます。私たちは

- 一、自然を愛し平和な村をつくります。
- 一、生産に励み豊かな村をつくります。
- 一、伝統を重んじ、教養を高め、文化の村をつくります。
- 一、人情といたわりの心を養い、福祉の村をつくります。
- 一、明るく健康で、活力ある村をつくります。

どろし

平成22年9月号



道志村の夏休み

(写真左上) 水源の森国際音楽祭
(写真左下) 盆踊り拳友会の演舞

(写真右上) 青少年ゲートボール大会
(写真右下) 盆踊りこども太鼓の演奏

Contents

P2 消防署竣工

P3 第1回全国源流サミット

P4 北野大 公開講座・国勢調査

P5 高齢者福祉プロジェクト

P6 学校たより

P7 診療所たより

P8 アライグマに注意

P9 高齢者虐待チェック・運動教室

P10 ぐらしの情報・お知らせ

P12 道志村トピックス

都留市消防署 道志出張所 が竣工しました

道志村の消防防災拠点として建設が進められていました都留市消防署道志出張所の庁舎が7月末に完成し、8月11日(水)に竣工式を挙行しました。現在全ての業務を新庁舎で開始しています。

新消防庁舎は、消防職員が各種の災害に対して迅速な出動や対応が出来るように配慮した構造になっており、1階は車庫と倉庫、2階は事務室や新たに整備した会議室、仮眠室が設けられています。今後、気象観測装置等の整備を行い、道志村の防災拠点としての機能を有する施設としての役割を果たします。



庁舎の全景



新たに整備した会議室



防災関係者によるテープカット

(左から) 佐藤東部支部副支部長、鷹野県民センター所長、小林都留市長、大田道志村長、長田消防長、鈴木地域防災幹、池谷出張所長

第1回 全国源流サミット

近年、源流地域においては森林の荒廃、林業者不足等様々な課題が山積しています。全国源流の郷協議会ではこのような問題を解決するため10回の「全国源流シンポジウム」を加盟団体の協力により開催してきました。

この度、大会名を「全国源流サミット」と改め、全国源流の郷協議会加盟団体の町村長等の参加のもと、全国の源流でどんな取り組みが実践されているかを解明し、未来に向かって何が出来るかを真剣に議論し源流の価値と可能性を共に探求していくとともに、流域内住民、企業、団体、行政が共に連携する事により、源流地域・下流地域の役割等を再認識し、源流地域が未来に存続し、輝き続ける事の出来る社会の構築を目指して、「第1回全国源流サミット」を道志村で開催する運びとなりました。

つきましては、全国源流サミット参加受付を行っておりますので積極的な参加をお願いします。

日時 10月22日金～24日国
会場 水源の郷 やまゆりセンター

全国源流サミット 10月22日金 15:00～17:00
全国源流の郷協議会加盟団体によるサミット
15:00～ 第1回全国源流サミット全体会

全国源流サミット 10月23日土 12:00～19:30
13:40～ 特別講演 米長邦雄氏（永世棋聖）『先を読む 時代を読む』
14:30～ 特別報告 群馬県みなかみ町・宮崎県五ヶ瀬町
15:00～ 基調講演 宮林茂幸氏（東京農業大学教授）『源流新時代の幕あけ』
15:40～ 源頼朝の様物語
16:10～ パネルディスカッション『源流に新たな光を照らす』

道志村エクスカージョン 10月24日国 9:00～13:00
○道志川源流探訪・名所めぐり○道志溪谷林間ロードレース
○みなもと体験館体験ツアー

主催…第1回全国源流サミット実行委員会

共催…道志村／全国源流の郷協議会／NPO法人全国源流ネットワーク

協力…道志村議会／横浜市水道局／道志村観光協会／道志村子ども農山漁村地域協議会／道志村商工会／道志村漁業協同組合
大月交通安全協会道志支部／道志村体育協会／道志村青年団／道志村消防団／ボランティア団体あすなろ会／道志村の郷土史を語る会
道志村食生活改善推進委員会／株式会社どうし／NPO法人道志森づくりネットワーク

後援…国土交通省／環境省／林野庁／山梨県／横浜市／桂川・相模川流域協議会

『道志村と明治大学との連携事業』公開講座の開催について

道志村は明治大学と連携し、村の資源活用、情報発信、農業とNPO活動、商業活動、安心・安全等の新しい村づくり方策の議論を、7月から村民16名役場職員9名で行っています。今回第5回目として、明治大学理工学部教授北野大さんの「水と環境問題」と題した公開講座を開催しますので、多くの村民の積極的な参加をお願いします。

※テーマ 「水と環境問題」

※講師 明治大学理工学部教授 北野 大氏

※日時 平成22年9月26日(日) 午後4時から

※場所 水源の郷 やまゆりセンター ふれあいホール



(経歴等)

1942 東京都に生まれる
1972 東京都立大学 大学院
工学研究科 工業化学専攻
博士課程 修了(工学博士)
助化学物質評価研究機構 企画管理部長を経て
1994 淑徳短期大学 食物栄養学科 教授
1996 淑徳大学 国際コミュニケーション学部
経営環境学科 教授
2004 同 人間環境学科 教授
2006 明治大学 理工学部 応用化学科
同 大学院 理工学研究科 応用化学専攻 教授
2008 同大学院理工学研究科新領域創造専攻 教授

(公職)

経済産業省 化学物質審議会委員 審査部会長
産業構造審議会委員
環境省 中央環境審議会臨時委員
国連環境計画 残留性有機汚染物質検討委員会 委員



【国勢調査のお知らせ】

第19回国勢調査が今年**10月1日**を基準日に全国一斉に行われます。

国勢調査は、統計法に基づき、日本に住んでいる人・世帯を対象とする国の最も重要な統計調査です。国勢調査によって得られる様々な統計は、国や都道府県・市町村で行う行政の基礎資料として利用され、私たちのより良い暮らしや住みよい街づくりに生かされています。

調査にご協力をお願いいたします。

9月23日～9月30日の間に、調査員が村内の各世帯を訪問し、調査票の記入と提出を依頼いたします。

調査票は、各世帯ごとに記入していただき封入れし提出していただきます。

調査票の提出について

調査票の回収は、10月1日から10月24日までの間に調査員が再度訪問いたしますので、提出してください。返信用封筒で役場に直接郵送してもかまいません。

調査が正確かつ円滑に実施されるためには、皆様のご理解とご協力が必要です。

調査員が皆様のお宅に伺いましたらご協力をお願いいたします。

★問合せ先★ 道志村役場総務課 国勢調査担当 TEL0554-52-2111 fax0554-52-2572

村民で話し合い 村民で実現する 村づくり 世代を超えて安心して暮らせる村づくりプロジェクト

昨年度から、老若男女が安心して住み続けられる村の将来を村民自身で考えようと、話し合いを続けています。
そのきっかけは、道志村での高齢者福祉の問題でした。

しかし、村の高齢化の問題は、高齢者だけの問題ではなく、暮らしを支えている世代から、村の将来を担う子どもや若者、すべての村民の生活の質につながっています。そこで、昨年度、まずは様々な世代でどんな暮らしの課題があるかを話し合い、整理してきました。

そして今年度は、暮らしの課題を一步一步村民自身でどう解決できるか考え、実行していきます。道志村では、暖かい人間関係、お互いが助け合える関係があります。それは何よりの財産です。その助け合いの力を大切にしながら、必要な部分は仕事として支えていく仕組みも必要です。是非、村民で共に考え、実行していきましょう。

**具体的な活動はこれからです！
話し合いはグループに分かれて
行いますので、いつでも参加できます。
是非、ご参加下さい！**

村に暮らす一人一人を大切にする村づくりは
皆さん一人一人の参加から始まります。

**自分たちで
村づくり
をしよう！**

2009年度
村民の暮らしの課題を
多世代で出し合い
整理しました

2010年度
優先順位の高い課題を
具体的に解決する
方法を試します

2011年度
実行・継続するための
仕組みと組織を
つくります（予定）

2012年度
さらに課題別に
様々な活動を
展開していきます

次回の話し合いにご参加下さい！

**日時：9月29日（水）
19:00～21:30**

場所：やまゆりセンター

**内容：今年度の具体的な活動の
計画を立てます。**

お問い合わせ：道志村役場

住民健康課 電話52-2113 大田・宮下
産業振興課 電話52-2114 中島

道志村未来通信でお伝えします



このプロジェクトの活動の様子は、広報誌と共にお配りする「道志村未来通信」にてお伝えします。現在、1～3号まで発行されています。住民健康課にお尋ね下さい。

第4号は、この広報誌と共にお配りしていますので、詳しくはそちらをご覧ください。

学校だより 道志小学校(第50号)

◎たくさんお願いを書きました(七夕集会)

7月7日に七夕集会を児童会主催で開きました。まずは6年生が低学年に飾りや短冊を優しく指導してくれました。そのあと大きな竹にしっかりと結びつけていきました。たくさんさんの願いがみんなかなうといいですね



◎やる気を発表(2学期始業式)

長い夏休みも終わり、8月25日は2学期始業式でした。みんな元気いっぱい登校しました。今年

は、自信を持って発表する力を育てることをねらいとして始業式と終業式に各学年1名ずつ発表をしています。今回も夏休み中に楽しかったこと、2学期にがんばりたいことを大きな声で発表してくれました。2学期はもつとも長く行事も多い学期です。みんながやる気をもって楽しい学校生活を送ってほしいです。



◎マイケル先生にみんな大喜び

毎週金曜日に小学校に来て、英語活動と一緒に進めてくれていたケリー先生がオーストラリアに帰国されました。その代わりの先生として、アメリカ出身のマイケル

先生が来てくれました。子どもたちは、若い男性の先生に興味津々の様子。英語の授業を心待ちにしているようです。



◎運動会の練習開始

2学期が始まると同時に運動会の練習が始まりました。厳しい暑さの中なので、家から水筒持参です。まずは、自分たちが使う校庭の石拾いから始めました。2週間の練習期間なので子どもたちもたいへんですが、練習を重ねる中心も身体も成長していきます。9月11日には立派な演技を見せてくれると思います。



診療所だより



すでにお気づきの方もいらっしゃると思いますが、8月上旬に、診療所入口の向かって右側のスペースに、清涼飲料水の自動販売機が設置されました。普通の自販機と違う点があります。それは**売上の2%をNPO法人であるゴールドリボンネットワークへ寄付する**点です。

乳がんの啓発キャンペーンであるピンクリボンは、最近になり認知されるようになってきていますが、ゴールドリボンとは何ぞや？と思われる方がほとんどではないでしょうか。

ゴールドリボンは、小児がんへの理解と支援の広がり願う世界共通の『シンボルマーク』です。世界中で多くの団体がゴールドリボンを掲げ、小児がんの理解の普及、治療研究、精神的・経済的支援など、それぞれの目的で活動を行っています。日本ではまだ歴史も浅い活動ですが、徐々に活動団体や支援企業が増えてきています。



県内初の設置

今回は小児がんの現状についてお話しします。

小児がんとは一般的に15歳未満の子どもの白血病・脳腫瘍・骨肉腫・悪性リンパ腫など47種類のがんのことをいいます。日本では子どもの病死原因の1位で、年間およそ2,500―3,000人の子どもが新たに罹患しており、全国で17,000人を超す子どもたちが今も小児がんと闘っています。

しかし小児がんは大人のがんに比べて圧倒的に患者数が少ないため、治療法や薬などの研究開発がなかなか進んでいません。例えば、47種類もある小児がんに対して、認可された薬はおよそ10種類程度です。

新薬の治験一つとっても莫大な資金が必要になりますが、患者の少なさから一般的にも注目されにくく、研究開発予算も必ずしも十分でない上、支援の声も集まりにくいのが現状なのです。

是非この機会に、小児がん問題や、ゴールドリボンの活動を知っていただき、のどを潤す際に思い出して、ご協力いただければ幸いです。

9月の予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8/29	8/30	8/31 午前：胃カメラ	1	2 研修のため休診	3	4 午前中のみ診察
5	6	7 午前：胃カメラ	8	9 研修のため休診	10	11 午前中のみ診察
12	13	14 午前：胃カメラ	15	16 研修のため休診	17	18 休診
19	20 敬老の日	21 午前：胃カメラ	22	23 秋分の日	24	25 午前中のみ診察
26	27	28 午前：胃カメラ	29	30 研修のため休診	10/1	10/2 休診

月始めには保険証の提出をお願いします。

特定外来生物アライグマに注意！

アライグマは、全国各地で野生化したものが確認され、山梨県では、平成 12 年以降、富士五湖周辺や上野原市内の山梨県東部で確認されるようになり、平成 20 年度には県内全域で分布が確認されています。近年、農作物被害・生活環境被害・生態系被害・人の生命、身体への影響等懸念されていることから、平成 17 年に施行された「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」において、アライグマは「特定外来生物」に指定され防除できることとなりました。

道志村では、山梨県アライグマ防除実施計画を受け 計画的な捕獲作業を実施する予定です。

アライグマにご注意！

アライグマは北アメリカ原産の哺乳類で（食肉目アライグマ科）、中型犬くらいの大きさになります。大人の体重は 5～10kg くらいですが、時には 20kg にもなります。目と鼻の黒い部分と白いヒゲが特徴。尾にも 7 本くらいの輪模様があります。果実、野菜、昆虫、魚類、両生類、爬虫類、鳥類、小哺乳類など何でも食べ、菓子などの甘いものも好みます。ペットフードを食べにきて、犬や猫を襲うこともあります。木登りがうまく、社寺や民家の天井裏にも入り込み、巣として利用し、糞尿で汚したり、壊したりします。

年に 1 回、3 月～5 月頃に 3 頭から 6 頭の子供が生まれ、早いスピードで数が増えます。



アライグマは農作物に深刻な被害を与えます。

アライグマは社寺や民家に侵入して生活環境への被害を与えます。

アライグマは在来の動物を食べ様々な生態系への被害を与えます。

アライグマは危険な感染症をもたらすかもしれません。

**アライグマ目撃情報をお待ちしています。
目撃した方は、下記までご連絡ください。**

道志村役場 産業振興課 林政担当

☎ 0554-52-2114



高齢者が「ひどい仕打ち」と思っていることをしていませんか？

高齢者虐待に関する調査では、高齢者虐待における特徴のひとつに、お年寄りの介護や世話をしている半分以上の人が虐待の自覚が無いという結果が出ています。虐待の例を示しましたので、知らないうちに不適切な対応になっていないか、ときどきチェックしてみましょう。

- ☐ お年寄りが言うことを聞かないので、手が出たり、ののしったりしてしまう。
- ☐ 言うことを聞かないので、口を聞かないようにしている。
- ☐ 介護や世話が大変なので、世話をしない。
- ☐ 良いことと悪いことをわかってもらうため、たたくなどしてしつけをしている。
- ☐ 認知症により徘徊するので部屋に閉じ込めている。
- ☐ 認知症や寝たきりのお年寄りがいて、外聞が悪いので外出させなかったり、本人を訪ねてくる人があっても会わせないようにしている。
- ☐ 年金手帳、貯金通帳などを管理し、本人に無断で使っている。
- ☐ 経済的に苦しいので、病院へ連れて行くことを控えている。
- ☐ 人前でオムツを替える。
- ☐ 下半身を裸にしたまま放っている。



これらは高齢者との対応で、気をつける必要がある例です。いくつかチェックが付いた方は、今後の介護や世話について下記にご相談ください。

①道志村地域包括支援センター（道志村住民健康課内） ☎0554-52-1555

②高齢者総合相談センター（シルバー110番） ☎055-254-0110

9時～17時（土日祝日、年末年始を除く）



運動機能向上教室が始まります

普段の畑仕事では鍛えられない筋肉を鍛える方法がわかります。元気なうちから正しい運動の方法を学び、みんなで楽しく運動しましょう。自分らしく生きるためにまずは運動から始めてみませんか？

運動教室開催日

No	日 時	No	日 時
1	9月 8日 (水)	7	12月 1日 (水)
2	9月 22日 (水)	8	12月 15日 (水)
3	10月 6日 (水)	9	1月 5日 (水)
4	10月 20日 (水)	10	1月 19日 (水)
5	11月 2日 (火)	11	2月 2日 (水)
6	11月 17日 (水)	12	2月 16日 (水)

場 所 やまゆりセンター

時 間 午後1時30分から3時まで

持 ち 物 汗をかきますので、タオル・飲み物を持ってくるください

問い合わせ先 道志村役場地域包括支援センター ☎52-2113 伯耆・宮下

くらしの情報 お知らせ

▲9月のつぼみつくらぶ

つぼみつこは今月もお子さんの元気を応援します。対象者は、保育所入所前のお子さんと保護者です。

◎軽食・手作りおやつを 作りましょう！

日時 9月14日(火) 午前10時～
場所 やまゆりセンター

講師 古谷けい子栄養士
内容 簡単に作れるヘルシーおやつ作りをしたあと試食します。家でも作れておいしいおやつが好評です

◎楽しく3b体操をやってみよう！

日時 9月28日(火) 午前10時～
場所 やまゆりセンター
講師 3b公認指導者

内容 大森なな子さん
歌や音楽に合わせて思いっきり体を動かせます。ぜひご参加ください。

お問合わせ

役場住民健康課保健師
(伯耆・宮下) ☎52-2113



●「道志村クラフトフェア2010秋」 出展者募集！

「緑と清流と歴史の郷」であるこの道志村で、手づくりにより生れた多くのクラフトを沢山の人の触れたいいただき、作り手と使い手の交流の場を設けると共に、地域産業の振興を図るため開催いたします。

日時 平成22年10月10日(日)
11日(月)

午前10時～
場所 道の駅どうし 芝生広場
応募資格

1 道志村に住所を有する者。
又は道志村に工房等があり主に道志村でクラフト活動をしている者。

2 出展者本人のオリジナル作品であること。
(仕入品等を展示販売することはできません。)

3 主催者の指示に従い、秩序を守ることを守ること。

出展料 1区画 2,000円
(開催期間中)

出展場所 道の駅どうし 芝生広場
約3m×3m

申込締切 平成22年10月1日(金)

●秋の五感の集い 星空と音楽の夕べ

皆さんは最近夜空を見上げたことありますか。秋晴れの夕方、太陽が沈んでしばらくすると蒼色の宵空に、一つ、また一つと星が姿を現わします。そして夜が更ける頃には満点の星が天空を彩ります。大地から仰ぎ見る星たちの輝きは、私たちが今、宇宙で生きていることを実感できる瞬間でもあるのです。

星空のカラー写真とともに、ひとときの星空めぐりへと誘います。
楽しいトークの世界をお楽しみください。

日時 9月25日(土)

午後7時～
場所 やまゆりセンター

講師 牛山俊男(自然写真家)
問合わせ先

教育委員会社会教育係
☎52-1020

●富士吉田市制施行 60周年記念事業

宝くじスポーツフェア 「ドリーム・ベースボール」開催！

日時 平成22年9月26日(日)

午前9時30分～午後3時
場所 富士北麓公園野球場

入場料 無料(入場整理券が必要になります。)

入場整理券は、富士吉田市役所等富士吉田市の公共施設の他、道志村役場総務課でも受け取れます。

日本プロ野球名球会と全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)のメンバーによる少年少女ふれあい野球教室や、ドリームチームと富士吉田市選抜チームによるドリーム・ゲーム、名球会の金田正一氏の講演会を行う予定です。往年の名選手が富士吉田市へ多数来られます。野球ファンのみならず、多くの市民の皆様方のご来場をお待ちしております。

当日は、道志野球スポーツ少年団のこども達も野球教室に参加します。

【出場予定選手】

名球会選手
山本浩二さん、
村田兆治さん 外6名、
OBクラブ選手16名出場予定



※当日は富士北麓公園をスタートするマラソン大会も開催されるため、富士北麓公園駐車場の使用はできません。一般の方は、指定無料駐車場からのシャトルバスをご利用下さい。

※その他詳細については、富士吉田市役所ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

富士吉田市制施行60周年記念事業
実行委員会事務局（ドリーム・ベ
ースボール担当）

☎0555-22-1111

■山梨県立富士北稜高等学校公開授業
および 平成23年度前期募集入学者
選抜説明会について

対象 中学校教員・保護者および
一般

日時 平成22年10月13日（水）

◎公開授業

目的 特色ある系列の授業参観を
通して、本校を理解して頂
く

時間 午後2時30分～3時20分

場所 各教室

◎前期募集入学者選抜説明会

目的 より多くの情報を直接提供
することで、前期入試につ
いて理解して頂く

時間 午後3時30分～

場所 視聴覚室

内容

（1）前期募集入学者選抜募集要
項の配布・説明

（2）昨年度の面接・作文問題に
ついての解説

（3）質疑応答

（4）その他

※駐車スペースが限られております
ので、公共交通機関のご利用やお
乗り合わせをお願いします。

※上履きをご持参下さい。

問い合わせ先

富士北稜高等学校 研究部 坂本

☎0555-22-4161

◆第18回

医療作文コンクール開催

苦しかった病気、痛かったケガ、手
術をうけた病院、かかりつけの医院、
お医者さん、看護師さんとのふれあ
いなど、医療の体験をおし、感じた
こと、考えたこと、また、将来こんな
お医者さんになってみたい、
看護師さんになってみたいという
夢や希望を作文にしてください

応募要領

○応募資格 小学生以上の県内
在住者、県出身者、または県内で
の体験者

○規定 1200字から2000字
作品の表紙に題名、郵便番号、住
所、氏名、年齢、性別、職業（学
校名、学年）、電話番号を明記し
てください

作品は未発表のものに限ります

○応募先

〒400-8515

甲府市北口2-6-10

山日YBS事業局

「ふれあい医療作文コンクール」係

☎055-231-3121

○×切 平成22年10月末日

表彰

○山梨県医師会会長賞 1編（賞金5
万円）

○優秀賞 2編（賞金1万円）

○山梨県病院協会会長賞 1編（賞
金5万円）

○佳作 6編（賞金5千円）

○山日YBS賞 1編（賞金3万
円）

○団体賞（数校）（賞金3万円）

※全賞に賞状、盾、賞金を贈ります。

高校生以下の入賞者には賞金相当
の図書カードを贈ります

※また、応募者全員に参加賞を贈り
ます

発表

平成23年1月下旬、山梨日日新
聞紙上で行います

上位入賞作品は山梨日日新聞紙
上、山梨県医師会のホームページ、
山梨県病院協会会長賞は山梨県病院
協会誌に掲載します。

表彰式

平成23年2月山日YBS本社ホー
ルで予定しています

※応募作品の著作権は主催者に帰属
し、作品は返却いたしません。

問い合わせ

山日YBS事業局

☎055-231-3121

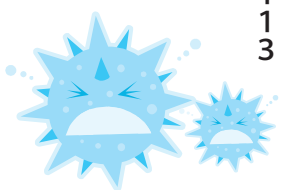
●子宮頸がん予防接種助成に
ついてお知らせ

道志村では小学校6年生女子児
童・中学1・2・3年生女子生徒が
対象です。対象者についてはすでに
通知してありますが、子宮頸がん予
防ワクチンは任意接種となります。
ご希望の方は効果についてよくご理
解してから接種をして下さい。また、
3回接種を行うに当たりスケジュール
を考えて、23年3月31日までに終
了出来るように医療機関に相談して
ください。

●契約医療機関での接種は窓口無料
です。ですが接種料金が1回につき
16,000円まで助成ですので、超
えた分は自己負担となります。もし
県外等での接種により全額自己負担
された時は、役場住民健康課での申
請により償還（おかし）が出来ます。
お問い合わせ

住民健康課 出羽・伯耆・宮下

☎52-2113



道志村トピックス①

● 公用車として電気自動車を導入しました

道志村役場では、公用車として電気自動車「アイ・ミーブ」を導入しました。フル充電で走行距離が約100kmなので、村内使用専用車として主に保健師の訪問等に活用する予定です。

また、10月には道の駅に高速充電施設が完成する予定となっています。

村では、環境に関する啓発の目的で、住民の方々に試乗して頂きたいと考えていますので、興味のある方は、役場総務課までご連絡ください。



導入した電気自動車「i-MiEV・エコどうし号」

● 青少年ふれあいゲートボール大会開催

8月7日(土) 道志小学校グラウンドにおいて、道志村青少年健全育成対策会議による恒例の「青少年ふれあいボール大会」が開催されました。

小・中学生を対象に地域の育成会別に行われたこの大会も今回24回目迎えました。21チーム169名の子供たちが参加して一生懸命がんばりました。

順位は次のとおりです。

- 優勝 善之木Eチーム
- 第2位 川原畑Cチーム
- 第3位 長幡東Bチーム

審判にご協力いただいた青春クラブの皆さんはじめ、関係者の方々暑い中ありがとうございました。



優勝した善之木Eチーム

● 親子料理教室を開催しました

道志村中学校の親子を対象に料理教室を8月19日(木)に行いました。



多数の親子が参加しました。

野菜を取り入れた低カロリーのヘルシーメニューを道志村食生活改善推進員の方に考えていただきました。「大豆のドライカレー」「ふわふわ豆腐ナゲット」「夏野菜のラタトゥイユ」「黄ピーマンプリン」に野菜嫌いな中学生もがんばって食べる姿が印象的でした。男子生徒も慣れない手つきで料理作りに一生懸命取り組んでいました。

● 街頭指導実施しました！

大月交通安全協会道志支部(支部長佐藤剛直)は、夏の交通事故防止県民運動の一環として街頭指導を実施いたしました。



7月24日の街頭指導の様子



男子も慣れない手つきで頑張りました

道志村トピックス②

● 宣教師メイさん来村

広報7月号でお知らせしました「宣教師メイさんを囲む会」が8月4日やまゆりセンターで行われました。

当日は、50年ぶりに来村したメイさんにゆかりのある住民また、現在他自治体に転出されている方が集まり、当時の写真を見たり時間を忘れ懐かしんでいました。

また、8月7日にはシートベルト着用率調査も行ないました。活発な指導の成果がでたようで7月1日に行った調査のものより、着用率の向上が見られました。着用率調査の結果は以下のとおりです。

7月1日実施分			
形態別	乗車人員	着用者	着用率
運転席	154人	144人	93.51%
助手席	45人	41人	91.11%
8月7日実施分			
形態別	乗車人員	着用者	着用率
運転席	321人	308人	95.95%
助手席	195人	185人	94.87%



馬場で河遊び

所しました。

夏休みは二十一名の児童が入

● 学童保育『どうしっこ』で夏休みを過ごしました



50年ぶりに来村したメイさん（中央）



みなもと体験館で工作体験

夏休みに入ってから、猛暑続きで体調不良を心配しましたが、どうしっこの子ども達は元気に施設内と外で思う存分遊びました。



みなもと体験館で手打ちうどん体験

「第1回全国源流サミット」ボランティアの募集について

「第1回全国源流サミット」を道志村で開催いたします。村内外から訪れる関係者や来賓者の皆様をあたたかくお迎えし、多くの方々に「道志村」の良さを知っていただくことが、サミットの成功に結びつきます。

第1回全国源流サミット実行委員会では、村民の方々に広くサミットに参加していただくため、一般ボランティアを募集します。

- 1, 募集期間 平成22年10月22日～3日間
- 2, 募集内容 一般ボランティア 20人程度

問い合わせ 道志村役場内 第1回全国源流サミット
実行委員会事務局
☎ 0554-52-2111 fax 0554-52-2572



道志村教育委員会
外国語指導助手
マイケル・アンソニー・ヒューストンJrさん

●自己紹介

8月よりケリー・ボイランド先生の後任として道志村のALT（外国語指導助手）に着任しましたマイケル・ヒューストンです。出身はアメリカのバージニア州で、父、母、妹との4人家族です。大学で東アジアを専攻していて、3年生の時に金沢大学に1年間留学していましたので、今回で2回目の来日になります。

趣味はギターや楽器を弾くこと。歌うことも好きで、大学の時はアカペラサークルに在籍していました。

●道志村の印象は？

色々な意味ですごくいいと思いました（笑）。しかし、都会より田舎のほうが肉体的にも精神的にもいいと思います。でも、大自然の中で住むには不便はつきものですね（笑）。

道志村の子ども達は、元気いっぱいかわいい。早くみんなの名前を覚えたいです。

●ALTとして目指すこと

国際交流が好きなので、自分が子供達に教えるだけでなく、子供達からも色々なことを学びたい。やがて子供たちが成長して、そういった交流をしてくれたら、非常にうれしい。

●道志村の皆さんへのメッセージ

普段はビックマロンに住んでいますので、見かけましたらアメリカの事とか英語の事など何でも結構ですので、気軽に話しかけてください。

マイケルさんで54人目となります。

わが家のアイドル



伊い 奈な 陽よう 大だい くん（川原畑）
平成19年2月18日生
父 学さん 母 ゆかりさん

趣味のひろば

サルスベリ（百日紅：ひゃくじつこう）
花言葉：雄弁・愛敬



渡辺美智子さん（上中山）

サルスベリの名は幹の成長に伴って古い樹皮が剥がれ落ち、新しいすべすべした感触の樹皮が表面に現れて、猿が登ろうとしても滑ってしまうことから名づけられました。紅色や白色の花が華やかで、取材させていただいた渡辺さんのお話では「今年が最良の美しさ」だと言う事です。

歳時記



9月9日は重陽の節句です。

重陽（ちょうよう）は、五節句の一つで、旧暦では菊が咲く季節であることから菊の節句とも呼ばれています。現在では、他の節句と比べてあまり実施されていないですが、平安時代は邪気を払って長寿を願い、菊の花を飾ったり、菊の花びらを浮かべた酒を酌み交わして祝ったりしていたそうです。たまには、こんな御節句もいかがでしょうか？

7月戸籍の届出は
ありませんでした。

慶
弔



発行 道志村役場

H22.8.1 現在 世帯数：619世帯 人口：1960人（男：985人 女：975人）

〒402-0209 山梨県南都留郡道志村6181-1 TEL 0554-52-2111（代） FAX 0554-52-2572 URL <http://www.vill.doshi.lg.jp/>